

『ヒルデガルトと出会う 命を観つめる』

レゾナンスCafe第4回は、命について考えます。

作家、臼田夜半さんは『ネロの木靴』の作者です。

『フランダースの犬』で主人公のネロは教会でルーベンスの絵の前で死にますが、あの死が自殺だったことをご存じですか？『フランダースの犬』の原作を丁寧に読むとわかります。『ネロの木靴』は『フランダースの犬』の続編で、なぜ自殺が起きるのかをテーマとした小説になっています。

臼田さんはヒルデガルト・フォン・ビンゲンの研究者であり、ヒルデガルトの著作『聖ヒルデガルトの病因と治療』の翻訳者でもあります。

ヒルデガルトは中世ドイツの修道院長であり、幼い頃から幻視体験をし、その体験は『道を知れ』という本にまとめられました。ヒルデガルトは著作をする一方で77曲の宗教曲を作曲しています。神秘体験とともに生きたヒルデガルトになぜ興味を持ち研究をしているのか、臼田さんにお話していただきます。

参加なさる方は、ヒルデガルトの概要を知るために少なくともwikipediaの解説程度は読んできて下さい。

会場は千葉県鴨川市の臼田夜半さんのお宅です。下の写真にあるようにまわりは自然に囲まれとてもいい場所です。晴れていたら青空の下でビールやお茶を飲みながらお話ししましょう。

臼田さんの著書をお持ちになった方にはサインしていただけます。

臼田夜半氏プロフィール

1946年、福岡県北九州市門司区生まれ。ヒルデガルト研究会主宰

著書には『ネロの木靴』(地湧社)のほかに、随筆集『病という神秘』(教友社)、

翻訳書『聖ヒルデガルトの病因と治療』(ポット出版)がある。

日時 平成28年5月28日(土) 午後1時より

会場 臼田夜半氏宅

千葉県鴨川市

12:15に安房鴨川駅高速バス(京成バス)バス停前集合

交通手段

東京から高速バス利用(京成バス)東京駅八重洲口より安房鴨川駅 2450円(片道)

往路 東京駅 10:10発⇒安房鴨川駅 12:13着

復路 安房鴨川駅 18:00発⇒東京駅 20:13着

バス停から臼田氏宅まではタクシーで移動。各自割り勘をお願いします。

会場でお酒を飲まない方は車での参加も可です。

臼田氏のお宅に駐車スペースがあります。お申し込みの際にそのことをお伝えください。

スケジュール

13:00 臼田夜半氏講話

14:00 質疑応答

14:30 乾杯 ~ 歓談

17:00 中締め 後片付けとバス停までの移動

18:00 高速バス乗車

会費 3,500円(飲物と軽食つき)

往路復路とも安房鴨川駅までの交通費は自己負担。

駅から臼田氏宅までのタクシー代は同乗者間の割り勘をお願いします。(一台1,500円程度)

定員 18名

お申し込み・お問い合わせ <http://bit.ly/resonanceapplication>



聖ヒルデガルトの 病因と治療



レゾナンスCafeとは？

レゾナンスとは「共鳴・共振」のこと。物理現象、音響現象、心理現象、身体現象、社会現象など、さまざまなレゾナンスが存在します。それらを理解し、体験し、学ぼうというのがレゾナンスCafe。主催は作家の宝生明とボディワーカーの望月クララ。